



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月9日

上 場 会 社 名 新日本空調株式会社 上場取引所

コード番号 1952 URL http://www.snk.co.jp

代 表 者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 夏井 博史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 山田 勇夫 (TEL)03-3639-2700

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

() / X24447 II (X41X (X14)	C. A AZMANI II MANA CARANTA						או הופוד המני	
	売上高	<u> </u>	営業利	l益	経常利	l益	親会社株主I する四半期線	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	74, 983	9. 6	1, 483	△35.5	1, 851	△28. 3	1, 284	△27. 2
29年3月期第3四半期	68, 405	16. 2	2, 299	_	2, 580	_	1, 764	_
(注) 与托利 20年 0 日 世	144 0 mm 1/ #0	0 7E1 x	Tm / 01 0	0/\ 00/=	0 0 40 45 0 00	\I/ #0 1	110 = = = = = /	0()

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 2,751百万円(91.0%) 29年3月期第3四半期 1,440百万円(——%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円銭	円銭
30年3月期第3四半期	52. 41	52. 21
29年3月期第3四半期	72. 03	71. 96

(2) 連結財政状態

(=) (=) (=)				
	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	91, 983	41, 598	45. 1	1, 692. 89
29年3月期	87, 920	39, 770	45. 2	1, 620. 61

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 41,480百万円 29年3

29年3月期 39,710百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円銭	円銭	円 銭	円銭	円銭	
29年3月期	_	10.00	_	30.00	40.00	
30年3月期	_	10.00	_			
30年3月期(予想)				30.00	40. 00	

⁽注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利	益	経常利	益	親会社株主する当期経		1株当たり 当期純利益
通期	百万円 110,000	% 9 7	百万円 4, 200	% 7 0	百万円 4,400	% 4 3	百万円 3,000	% 2 2	円 銭 122. 43
迪 朔	110,000	0. /	4, 200	7.0	4, 400	4. ა	3, 000	۷. ۷	122. 43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 —社(社名) 、除外 —社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	25, 282, 225株	29年3月期	25, 282, 225株	
30年3月期3Q	779, 104株	29年3月期	778, 535株	
30年3月期3Q	24, 503, 393株	29年3月期3Q	24, 502, 502株	

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当	四半期決算に関する定性的情報	2
(1)	経営成績に関する説明	2
(2	2)	財政状態に関する説明	2
(3	3)	連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2.	兀	半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1)	四半期連結貸借対照表	3
(2	2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
		四半期連結損益計算書	5
		四半期連結包括利益計算書	6
(3	3)	四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
	(継続企業の前提に関する注記)	7
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
3.	補	足情報	7
	亚	成30年3月期第3四半期 受注丁事高・完成丁事高・繰越丁事高の概況	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善を背景に景気は緩やかな回復基調が続きましたが、欧米の政策に関する不確実性やアジアにおける地政学的リスクの高まりなどにより、景気の先行きは不透明な状況となっております。

建設業界におきましては、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた施設やインフラ整備、首都圏の再開発など拡大傾向が続いている中、一方では資機材の高騰懸念、サプライチェーンの構造変化、技能労働者・技術者不足などが課題として顕在化している状況で推移しております。

こうした環境の中で、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、完成工事高749億8千3百万円(前年同四半期比9.6%増)、営業利益14億8千3百万円(前年同四半期比35.5%減)、経常利益18億5千1百万円(前年同四半期比28.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益12億8千4百万円(前年同四半期比27.2%減)となりました。また、受注工事高につきましては、819億8千4百万円(前年同四半期比0.4%増)となりました。

なお、当社グループの完成工事高は、通常の営業の形態として、工事の完成時期が期末に集中する傾向が強く、一方で、販売費及び一般管理費などの固定費はほぼ恒常的に発生するため、利益は期末に偏るという季節的変動があります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間における総資産は、919億8千3百万円となり、前連結会計年度に比べ40億6千2百万円増加しております。主な要因は、電子記録債権の増加14億7千2百万円、投資有価証券の増加20億2千1百万円であります。

負債は、503億8千5百万円となり、前連結会計年度に比べ22億3千4百万円増加しております。主な要因は、支払手形・工事未払金の増加20億8千5百万円であります。

純資産は、415億9千8百万円となり、前連結会計年度に比べ18億2千7百万円増加しております。主な要因は、利益 剰余金の増加3億4百万円、その他有価証券評価差額金の増加14億4千5百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月9日に公表しました「平成29年3月期 決算短信」における業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	7,826	6, 896
受取手形・完成工事未収入金	47, 164	46, 210
電子記録債権	1,700	3, 172
有価証券	501	400
未成工事支出金	1,096	2, 216
その他のたな卸資産	50	62
繰延税金資産	1, 475	851
その他	980	3, 868
貸倒引当金	△239	△248
流動資産合計	60, 556	63, 431
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	2, 323	2, 227
その他 (純額)	1, 182	1, 276
有形固定資産合計	3, 506	3, 504
無形固定資產	444	426
投資その他の資産		
投資有価証券	20, 121	22, 143
繰延税金資産	120	99
退職給付に係る資産	78	94
その他	3, 187	2, 375
貸倒引当金	△95	△91
投資その他の資産合計	23, 413	24, 621
固定資産合計	27, 363	28, 552
資産合計	87, 920	91, 983

())	11.		_	_	$\overline{}$	`
(=	红什	•	白	h	ш)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	28, 299	30, 384
短期借入金	7, 834	9, 564
未払法人税等	533	103
未成工事受入金	1,099	2, 552
工事損失引当金	1,036	863
引当金	192	91
その他	4, 616	2, 314
流動負債合計	43, 613	45, 875
固定負債		
長期借入金	777	203
繰延税金負債	2, 709	3, 392
訴訟損失引当金	95	-
退職給付に係る負債	897	868
その他	58	46
固定負債合計	4, 536	4, 510
負債合計	48, 150	50, 385
純資産の部		
株主資本		
資本金	5, 158	5, 158
資本剰余金	6, 887	6, 887
利益剰余金	21, 286	21, 590
自己株式	△854	△854
株主資本合計	32, 478	32, 781
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6, 959	8, 405
為替換算調整勘定	316	328
退職給付に係る調整累計額	$\triangle 43$	△34
その他の包括利益累計額合計	7, 232	8, 699
新株予約権	59	117
純資産合計	39, 770	41, 598
負債純資産合計	87, 920	91, 983

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

		(単位:百万円)
	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
完成工事高	68, 405	74, 983
完成工事原価	61, 388	67, 970
完成工事総利益	7, 017	7, 012
販売費及び一般管理費	4, 717	5, 529
営業利益	2, 299	1, 483
営業外収益		
受取利息	55	42
受取配当金	247	282
その他		85
営業外収益合計	325	410
営業外費用		
支払利息	20	27
為替差損	14	-
その他	9	14
営業外費用合計	44	42
経常利益	2, 580	1, 851
特別利益		
投資有価証券売却益	0	289
訴訟損失引当金戻入額	<u> </u>	63
特別利益合計	0	353
特別損失		
固定資産売却損	8	_
固定資産除却損	0	0
投資有価証券売却損	-	0
投資有価証券評価損	0	-
特別損失合計	10	1
税金等調整前四半期純利益	2, 570	2, 202
法人税、住民税及び事業税	172	245
法人税等調整額	633	672
法人税等合計	805	918
四半期純利益	1,764	1, 284
親会社株主に帰属する四半期純利益	1, 764	1, 284

四半期連結包括利益計算書 第3四半期連結累計期間

		(単位:百万円)_
	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	1, 764	1, 284
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	79	1, 445
為替換算調整勘定	△403	12
退職給付に係る調整額		8
その他の包括利益合計	△324	1, 466
四半期包括利益	1, 440	2, 751
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1, 440	2, 751

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記) 当該事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 当該事項はありません。

3. 補足情報

平成30年3月期第3四半期 受注工事高・完成工事高・繰越工事高の概況

区分		前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)		増減 (百万円)	増減率
		金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比		
受注工事高	一般設備工事	76, 852	94.1 %	76, 889	93.8 %	36	0.0 %
	(うち海外)	(2, 890)	(3. 5)	(7, 165)	(8.7)	(4, 275)	(147. 9)
	原子力施設設備工事	4, 794	5. 9	5, 095	6. 2	300	6. 3
	合計	81, 647	100.0	81, 984	100.0	337	0. 4
完成工事高	一般設備工事	63, 661	93.1 %	70, 273	93.7 %	6, 612	10.4 %
	(うち海外)	(7, 122)	(10.4)	(3, 548)	(4.7)	$(\triangle 3, 574)$	(△50. 2)
	原子力施設設備工事	4, 744	6. 9	4, 709	6. 3	△35	△0.7
	合計	68, 405	100.0	74, 983	100.0	6, 577	9. 6
繰越工事高	一般設備工事	80, 688	92.2 %	83, 932	91.7 %	3, 244	4.0 %
	(うち海外)	(3, 608)	(4. 1)	(7, 594)	(8.3)	(3, 986)	(110. 5)
	原子力施設設備工事	6, 807	7.8	7, 556	8. 3	748	11.0
	合計	87, 495	100.0	91, 488	100.0	3, 993	4. 6